

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

合成界面活性剤の有害性とその影響

－有害性より利便性を優先する、化粧品開発思想－

●はじめに

現代の美容技術は、化粧品製造における科学的進歩と密接に関連しています。特に、合成界面活性剤の使用は、メイクやスキンケア製品の性能を飛躍的に向上させました。しかし、その一方で、これらの化学物質が皮膚に与える影響についても注目が集まっています。本報告書では、合成界面活性剤の有害性とその影響について詳しく探り、皮膚科学の観点からの対策を考察します。

●合成界面活性剤の有害性

化粧品の製造には、合成界面活性剤をはじめとする多くの化学物質が使用されています。これらの化学物質は有害であることが多いですが、使用量を抑えて使えば、有害性よりも利便性が優るという論理で、合成界面活性剤が一般的に使用されています。これにより、メイクやスキンケアの化粧品による美容技術が飛躍的に向上しました。

一方、合成界面活性剤不使用のスキンケア化粧品は、天然成分のみで作られた、自然の恵みを活かした製品となります。20世紀初頭までは、天然成分によるシンプルケアが主流でした。

合成界面活性剤は、タンパク質を変性させたり、皮脂や細胞間脂質、角質細胞膜を構成する脂質を溶かしたりして、皮膚バリアを破壊します。また、紫外線の影響で活性酸素が生成され、活性酸素が皮膚の脂質を酸化させ、過酸化脂質が生成されます。これが皮膚バリアの破壊につながります。合成界面活性剤や紫外線の影響で生成された活性酸素は、皮膚老化や様々な肌トラブルの原因となります。

日焼け止めや合成界面活性剤を含む製品を使用した後は、すぐに洗顔で洗い流し、リノール酸を含有する合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品で皮膚バリアを強化することが推奨されます。これは皮膚科学的な事実ですが、そのことをほとんどの方が知りません。

●正しい使い方

日焼け止めは紫外線の侵入を防ぎ、皮膚老化や様々な肌トラブルを防ぐために使用します。メイクやスキンケアの化粧品は、見た目を美しくするために使用されます。しかし、これらの製品には合成界面活性剤が含まれており、皮膚バリアを壊し、紫外線の侵入を許し、皮膚老化や様々な肌トラブルを引き起こすという矛盾があります。

では、日焼け止めやメイク、スキンケアの化粧品を効果的に使用し、肌を守り、皮膚老化や様々な肌トラブルを防ぐためにはどうすればよいでしょうか。まず、これらの製品を使用する前に、リノール酸を含む合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品で皮膚バリアを強化します。こうすることで、その後使用する日焼け止めやメイク、スキンケアの化粧品のノリが良くなり、合成界面活性剤のダメージを最小限に抑えることができます。なお、外出時には、帽子や日傘も有効な対策です。

外出から帰ったら、すぐに洗顔料を使って洗顔し、リノール酸を含む合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品で皮膚バリアを強化するスキンケアを行います。間違っても、合成界面活性剤を使用した保湿スキンケアをしないようにしましょう。